

補足資料集



補足データ

■調査項目一覧	P.2
■基本属性	P.3
■未婚者の結婚・子どもを持つことについて（1）	P.4
■未婚者の結婚・子どもを持つことについて（2）	P.5
■既婚者の子どもを持つことについて	P.6
■「妊活」・「卵子老化」・不妊の可能性 <<未婚男女・既婚男女>>	P.7
■既婚男女の子どもについての意識	P.8
■妊娠に向けての取り組み（全項目・経年比較） <<既婚女性>>	P.9
■健康状態 <<未婚男女>>	P.10

基礎資料 <<政府統計より>>

■平均初婚年齢推移	P.11
■生涯未婚率推移	P.11
■結婚意向	P.12
■未婚者の異性との交際の状況	P.13

2013.12.4

(株)ベネッセコーポレーション ベネッセ教育総合研究所

<http://berd.benesse.jp/>

東京都多摩市落合1-34 TEL 042-311-3390 FAX 042-356-7313

調査に関する問い合わせ先： 次世代育成研究室 持田聖子

調査項目一覧

※調査結果につきましては、お問い合わせください。

分類	調査項目	対象
交際と結婚	交際相手の有無(★)	未婚
	結婚についての意向(★)	未婚
	結婚したい年齢	未婚
子どもを持つことについて	子どもを持つことについて(★)	全員
	希望子ども数	全員
	第1子を持ちたい年齢・理由	全員
	子どもを持ちたいタイミング(★)	既婚
	子どもを持つことについての考え(★)	未婚
	子どもを持ちたい理由(★)	既婚
	子どもを先延ばしにする理由(★)	既婚
	子どもを持たない理由(★)	既婚
	妊娠に向けての取り組み(★)	既婚
	不妊の可能性(★)	全員
	不妊治療経験	既婚
	不妊治療を受けた理由	既婚
	「妊活」という言葉の認知(★)	全員
	「卵子老化」という言葉の認知(★)	全員
	子育て支援策への要望(★)	既婚
	子どものいる暮らしのイメージ(★)	全員

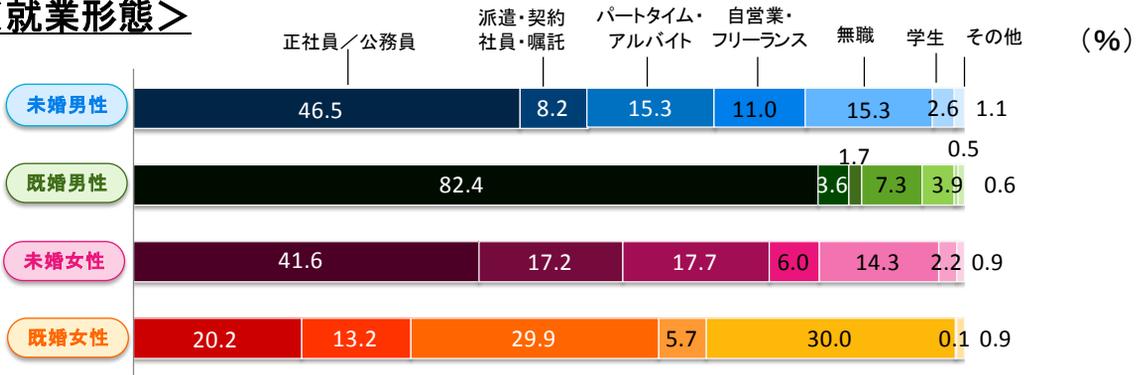
表内、(★)がついている項目は、リリース・補足資料集に掲載しています。それ以外の項目については、お問い合わせください。

分類	調査項目	対象
その他	健康状態(★)	未婚
	健康対策	未婚
	夫婦関係	未婚
	祖父母のサポート期待	未婚
	仕事に対する意識	有職
	職場の状況	有職
属性情報	女性のライフスタイル	全員
	現在年齢	全員
	配偶者の年齢	全員
	結婚時年齢	既婚
	実父母との居住距離	既婚
	きょうだい数	全員
	就業形態	全員
	就業時間	有職
	配偶者の就業形態	既婚
	個人年収	全員
	世帯年収	既婚
	経済的なゆとり感	全員
	最終学歴	全員
	配偶者の最終学歴	既婚
	居住地	全員
	同居している人	全員

基本属性

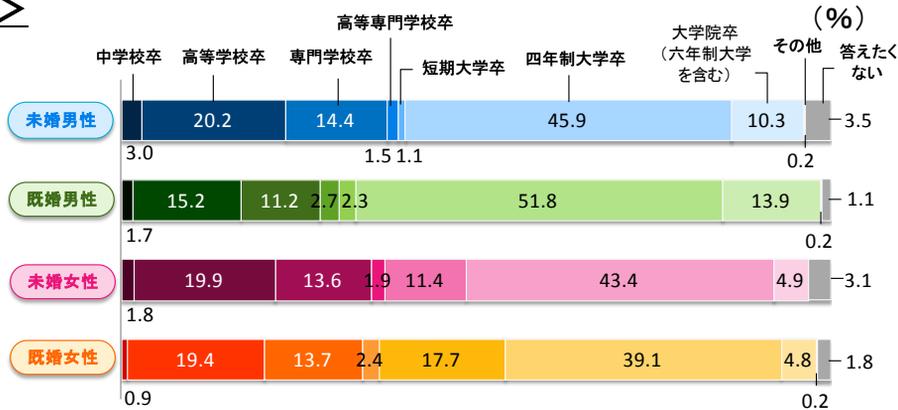
※調査概要・年齢分布につきましては、プレスリリース参照。

＜就業形態＞

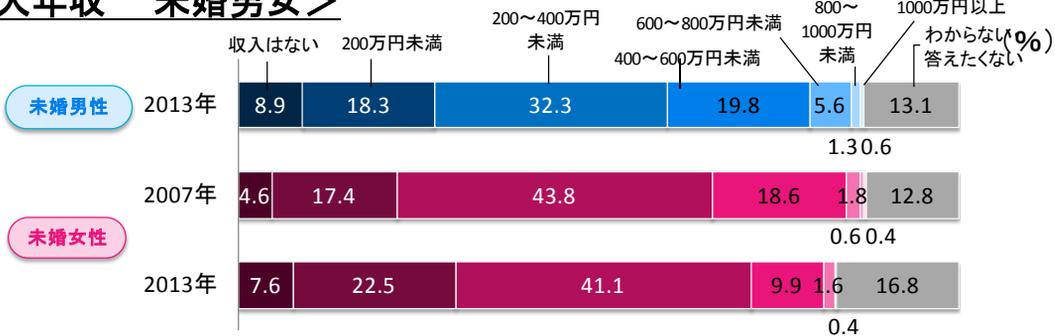


注) 既婚女性は、有職：無職＝7：3で割り付け。

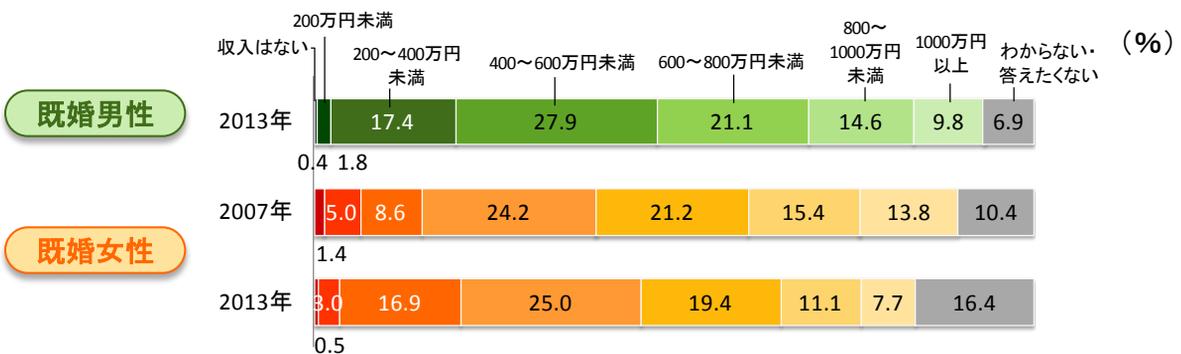
＜最終学歴＞



＜個人年収 未婚男女＞



＜世帯年収 既婚男女＞



未婚者の結婚・子どもを持つことについて（１）



未婚男性は、年齢に関わらず2割は「結婚について考えていない」と回答（図1）。未婚女性の子ども意向（ぜひ十でできれば子どもが欲しい）は、2007年に比べて、7.2ポイント減少（図2）。

図1. 結婚について（未婚男女・年齢別）

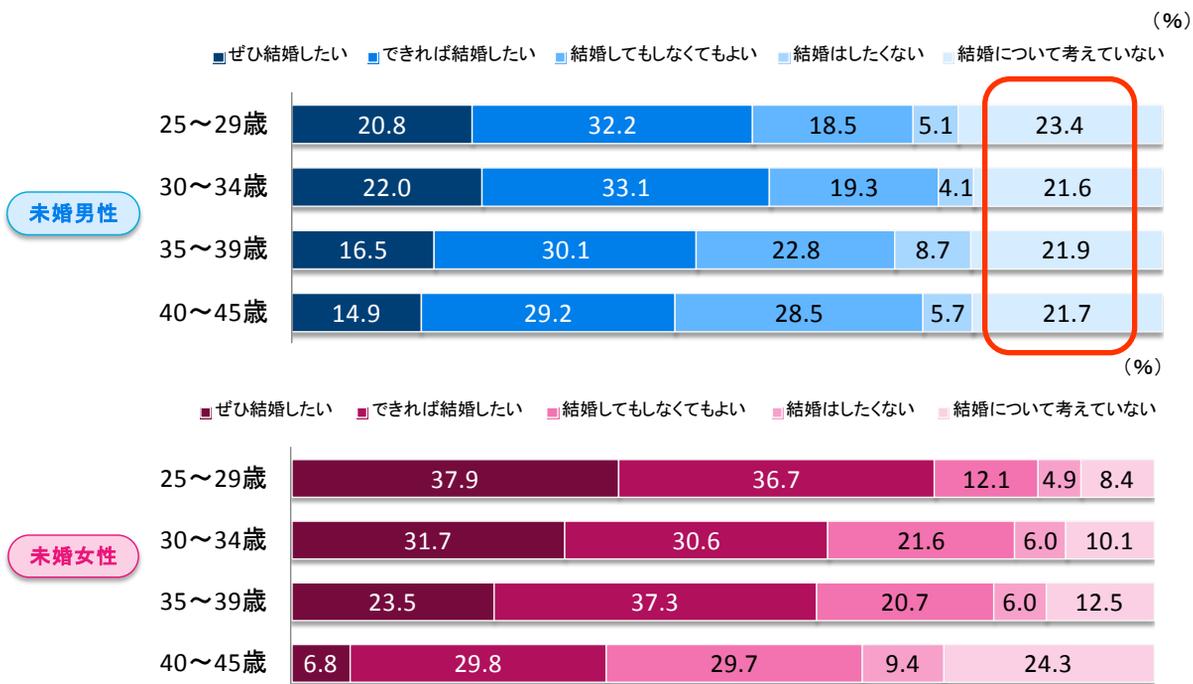


図2. 子どもを持つことについて（未婚男女・全体）



未婚者の結婚・子どもを持つことについて（2）



未婚男性は、年齢に関わらず2割は「子どもを持つことについて考えていない」と回答（図3）。未婚男女ともに、25～29歳がもっとも子ども意向が高い。結婚意向がある人の方が、子ども意向も高い（図4）。

図3. 子どもを持つことについて（未婚男女 全体/年齢別）

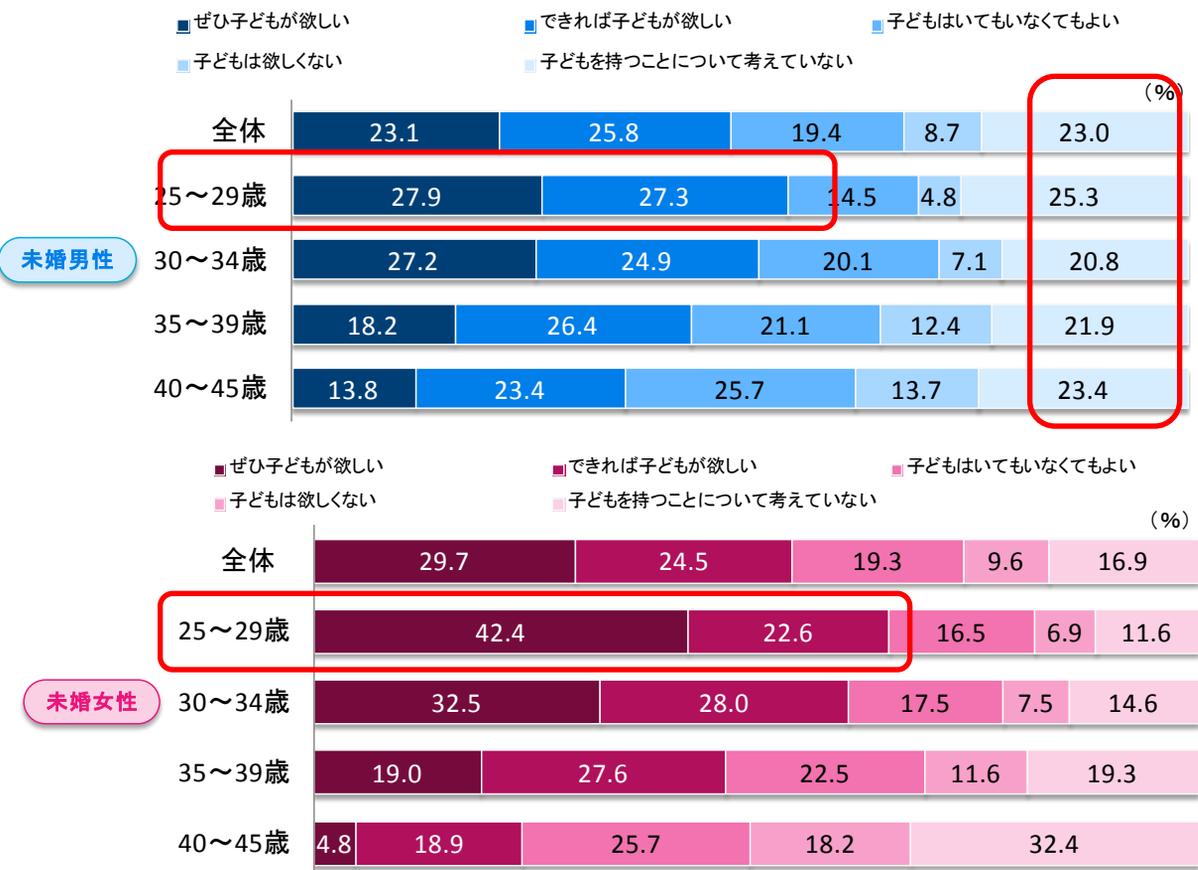
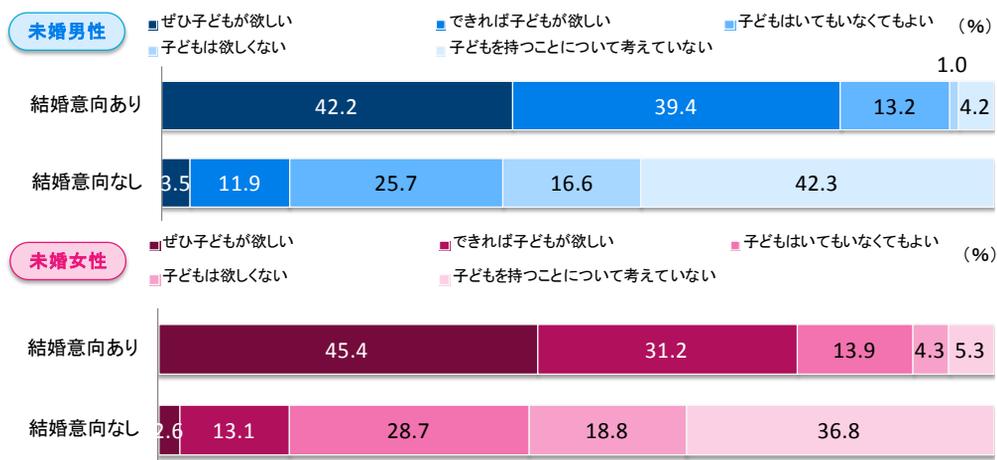


図4. 結婚意向と子ども意向（未婚男女別）



注) 結婚意向あり＝ぜひ結婚したい＋できれば結婚したい
結婚意向なし＝結婚してもなくてもよい＋結婚はしたくない＋結婚について考えていない

既婚者の子どもを持つことについて



既婚男性、既婚女性とも、25～29歳がもっとも子ども意向が高い(図5)。
40～45歳では、既婚男性の26.1%、既婚女性の33.9%が「子どもを持つことについて考えていない」と回答。

図5. 子どもを持つことについて(既婚男女・年齢別)

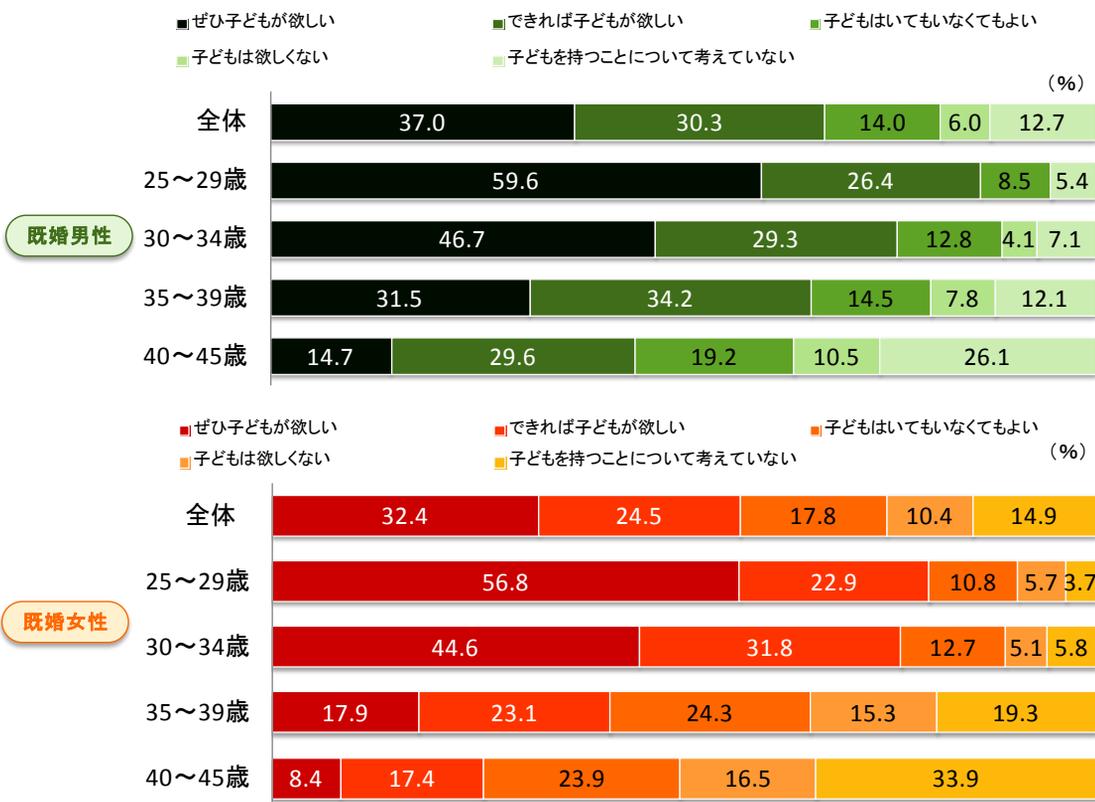
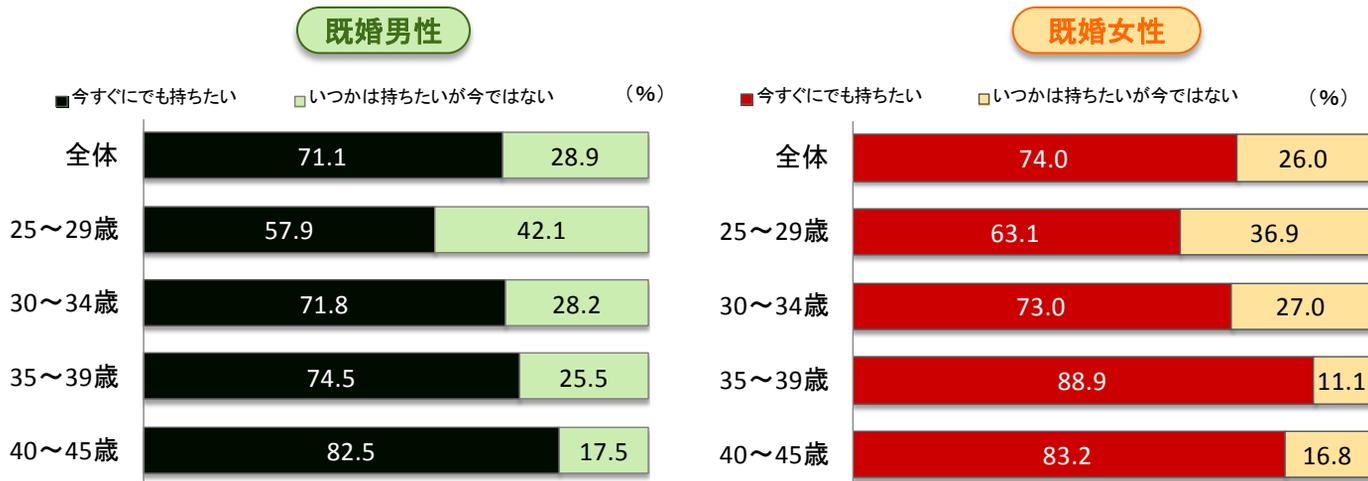


図6. 子どもを持ちたいタイミング(既婚男女・年齢別)



注)「ぜひ」「できれば子どもが欲しい」と回答した既婚男女。

「妊活」・「卵子老化」・不妊の可能性



未婚男性の4割、未婚女性の6割以上が、「卵子老化」ということばを聞いたことがあると回答(図8)。未婚女性の約2割は、自分または交際相手の不妊の可能性を感じたことがあると回答(図9)。子どもを「今すぐにでも持ちたい」既婚女性の7割は、不妊への気がかりを感じたことがある(図10)。

図7. 「妊活」ということばを聞いたことがあるか(未婚男女・既婚男女別)



図8. 「卵子老化」ということばを聞いたことがあるか(未婚男女別)

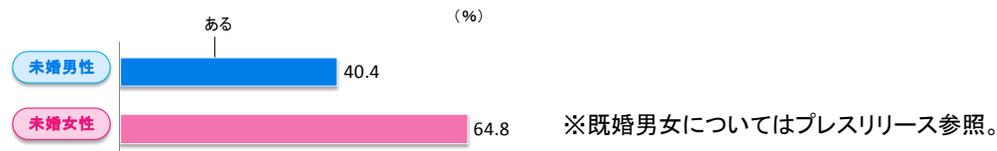


図9. 自分または交際相手が「不妊の可能性はあるのではないか」と思ったことがある(未婚男女別)

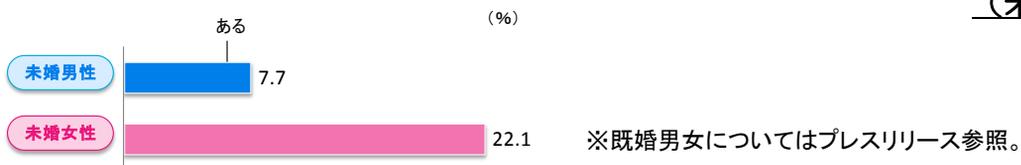


図10. 子どもを持ちたいタイミング×不妊の可能性(既婚男女別)

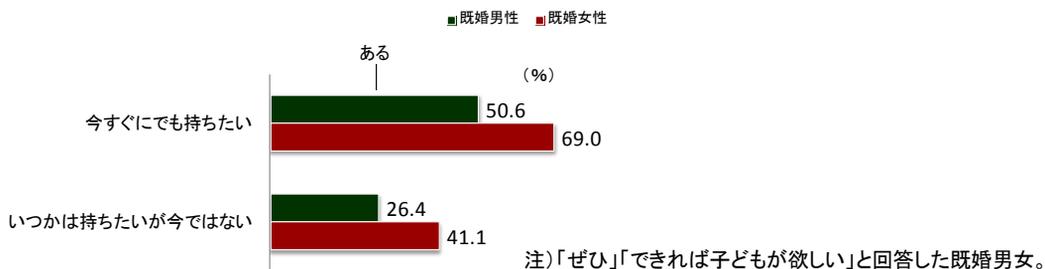


図11. 年齢×不妊の可能性(既婚男女別)



既婚男女の子どもについての意識



子どもを持ちたい理由として、既婚女性の半数が「自分の年齢的にリミットを感じているから」と回答(表1)。子どもを持たない理由は、「子育ては大変そう」と約半数の女性が回答(表2)。子どもを先延ばしにする理由は、男女ともに経済的な理由(余裕がない/生活レベルを維持したい)があがっている(表3)。全体として、女性のほうが、自分の成長を期待する一方、子育てへの負担感や不安感を感じている傾向がある。

表1. 子どもを持ちたい理由(既婚男女別)

表2. 子どもを持たない理由(既婚男女別)

子どもを持ちたい理由				
	既婚男性	%	既婚女性	%
1	自分の子どもが欲しいから	69.4	自分の子どもが欲しいから	70.6
2	好きな人の子どもが欲しいから	53.0	好きな人の子どもが欲しいから	64.3
3	孫を見せて親を喜ばせたいから	42.1	孫を見せて親を喜ばせたいから	58.5
4	配偶者が欲しがっているから	38.9	自分の年齢的にリミットを感じているから	51.8
5	子どもが好きだから	37.7	子どもを持つことで自分も成長できそうだから	44.2

子どもを持たない理由				
	既婚男性	%	既婚女性	%
1	今の生活レベルを維持したい	30.8	子育ては大変そう	48.2
2	自分の時間を大切にしたい	28.6	自分の時間を大切にしたい	39.0
3	子育ては大変そう	27.6	今の生活レベルを維持したい	32.7
4	経済的に余裕がない	26.5	親になる自信がない	32.5
5	今の社会環境では、安心して子育てできない	25.4	今の社会環境では、安心して子育てできない	31.2

注1)「ぜひ」「できれば子どもが欲しい」と回答した既婚男女。
注2)19項目中、「あてはまる」の上位5項目。

注1)「子どもはいてもいなくてもよい」「子どもは欲しくない」「子どもを持つことについて考えていない」と回答した既婚男女。
注2)18項目中、「あてはまる」の上位5項目。

表3. 子どもを先延ばしにする理由(既婚男女別)

子どもを先延ばしにする理由				
	既婚男性	%	既婚女性	%
1	経済的に余裕がない・貯蓄が足りない	28.9	配偶者と二人の時間を楽しみたい	36.5
2	配偶者と二人の時間を楽しみたい	23.6	経済的に余裕がない・貯蓄が足りない	32.5
3	自分がまだ仕事に集中したい・キャリアを積みたい	19.7	自分の時間を楽しみたい	26.3
4	今の生活レベルを維持したい	18.8	今の生活レベルを維持したい	24.9
5	自分の時間を楽しみたい	16.4	今の社会環境では、安心して子育てできない	21.8

注1)「ぜひ」「できれば子どもが欲しい」と回答した既婚男女のうち、「いつかは持ちたいが今ではない」と回答した人。
注2)20項目中、「あてはまる」の上位5項目。

表4. 妊娠に向けての取り組み（既婚女性・全項目・経年比較）



2007年に比べて、取り組む比率が上がった項目が多い。「身体を冷やさないように気をつける」「規則正しい生活を心がける」「婦人科検診を受ける」「お酒の量を控える、またはお酒をやめる」「予防接種を受けておく」など、健康・身体づくりに関する項目が大きく増えている。「書籍や雑誌、ムック、インターネットなどで情報収集する」「神社仏閣への参拝・祈願」も増えている。

		2007年	増減	2013年
妊娠に向けた活動	基礎体温を記録している	58.8		60.2
	妊娠しやすいタイミングでセックスをする	51.4		55.8
	避妊をやめる	51.4		53.7
	排卵検査薬などで排卵の時期・タイミングを知る	32.2		31.3
	セックスの頻度を増やす	19.8		23.7
	不妊治療（「その他」より繰り上げ）	-		8.1
	その他	14.1		6.7
健康・身体づくり	食生活に気をつける	48.6	<	58.0
	身体を冷やさないように気をつける	37.9	<<	54.4
	規則正しい生活を心がける	40.1	<<	50.9
	婦人科検診を受ける	29.4	<<	41.1
	薬はなるべく飲まないようにする	40.1		36.0
	お酒の量を控える、またはお酒をやめる	18.1	<<	31.1
	現在、体調の悪いところを治療する（婦人科の治療も含む）	31.1		30.4
	予防接種を受けておく（例：風疹・インフルエンザなど）	2.8	<<	26.5
	スポーツ・運動をする	31.1		24.2
	妊娠に効果があるとされる健康食品・栄養補助食品などをとる（例：マカなど）	16.9		24.0
	タバコを控える、または禁煙する	13.6		17.0
	鍼灸や整体、マッサージなどに通う	8.5		10.2
	人間ドックや会社や自治体の健康診断を受けている	10.7		7.3
	漢方療法（例：漢方薬による周期療法など）	8.5		6.8
アロマテラピー・ホメオパシーを取り入れる	4.0		3.8	
その他	1.1		0.9	
情報収集	書籍や雑誌、ムック、インターネットなどで情報収集する	52.5	<	62.2
	妊娠・出産した友人や家族、親戚などの体験談を聞く	42.9		42.0
	妊娠・出産に関するイベントや講習会などに行く	3.4		3.5
	その他	3.4		2.6
仕事と生活のバランス	仕事を辞めた	24.3		27.6
	転職をした	8.5		9.0
	社内で配置転換・異動を願い出て仕事の内容や職責を変えた	1.1		1.8
	その他	2.3		2.6
その他	神社仏閣への参拝・祈願	18.6	<<	31.8
	旅行などで気分転換をする	24.3		27.9
	妊娠によいとされる縁起かつぎ・ジンクスなどをおこなう	15.8		17.7
	妊娠によいとされる温泉（例：子宝温泉）に行く	11.3		8.4
	風水を生活に取り入れる	5.6		6.4
	その他	0.6		1.5

注1)「ぜひ」「できれば子どもが欲しい」と回答した既婚女性で、子どもを「今すぐにもも持たい」と回答した人。

注2)複数回答。

注3)増減 5以上10ポイント以下は「<>」、10ポイント以上は「<< >>」。

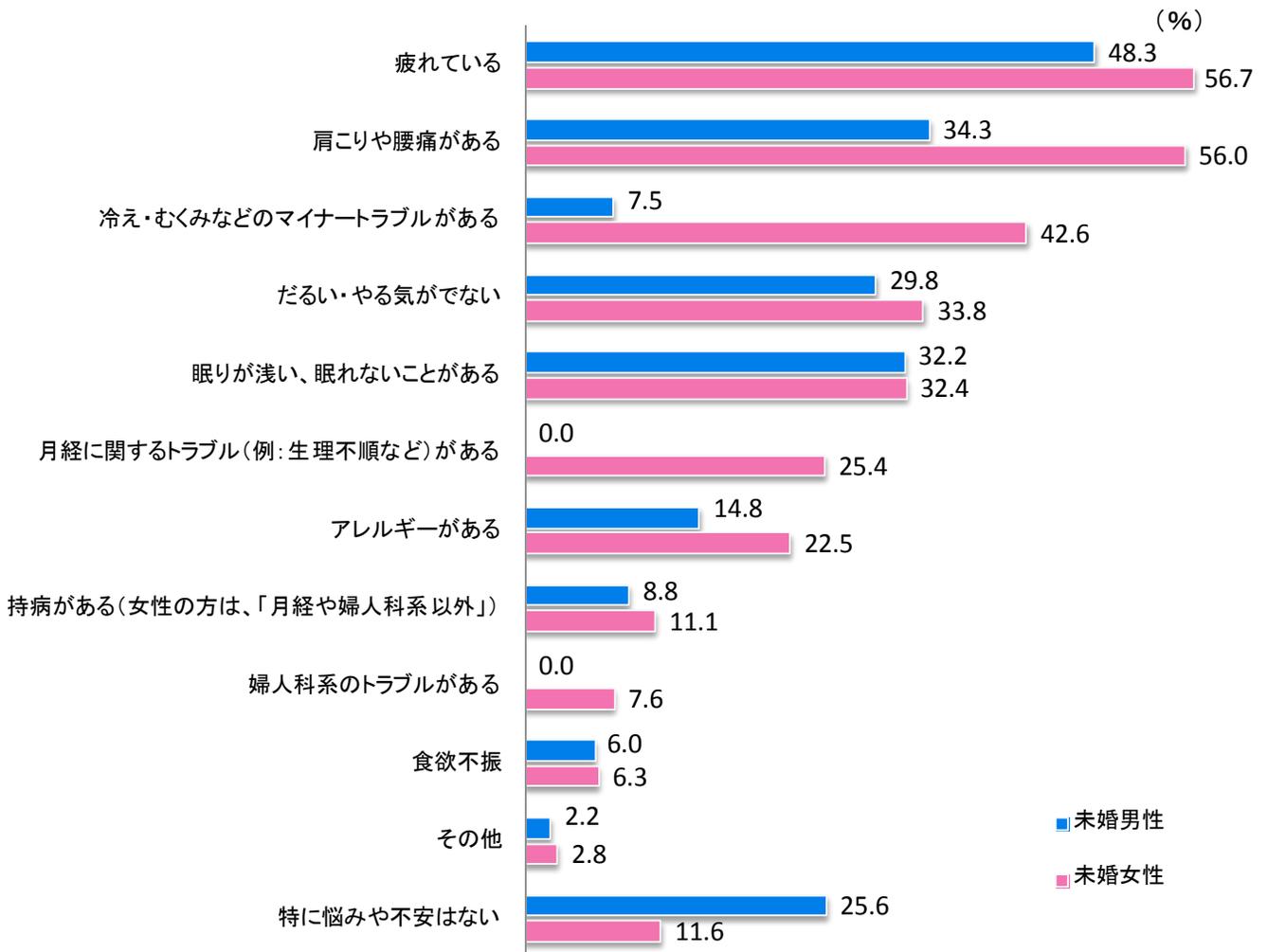
健康状態（未婚男女別）



未婚男女ともに、「疲れている」の回答が第1位。女性は、半数以上が「肩こりや腰痛がある」、4割が「冷え・むくみなどのマイナートラブルがある」。
男性の4人に1人は、「特に悩みや不安はない」と回答。

図12. 健康状態（未婚男女別）

※既婚男女についてはプレスリリース参照。



注1) 複数回答。
注2) 未婚女性の降順で図示。

基礎資料<政府統計より>



図13. 平均初婚年齢推移（平成25年度「厚生労働白書」より）

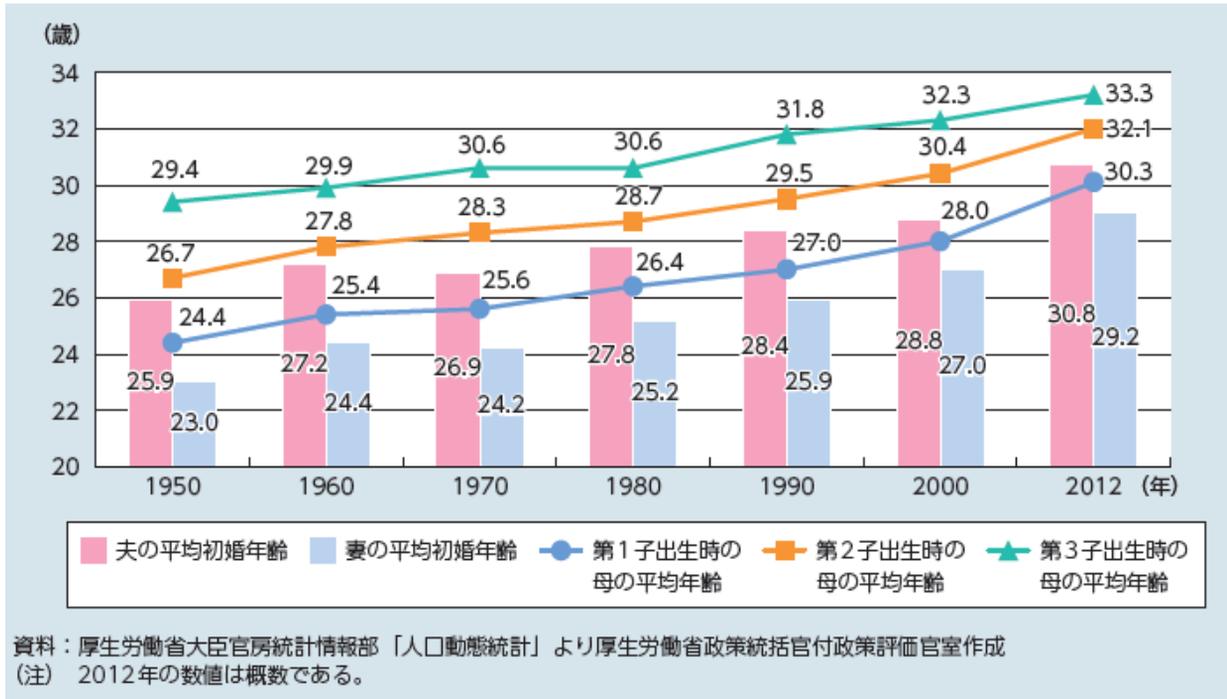


図14. 生涯未婚率推移（平成24年度「子ども子育て白書」より）

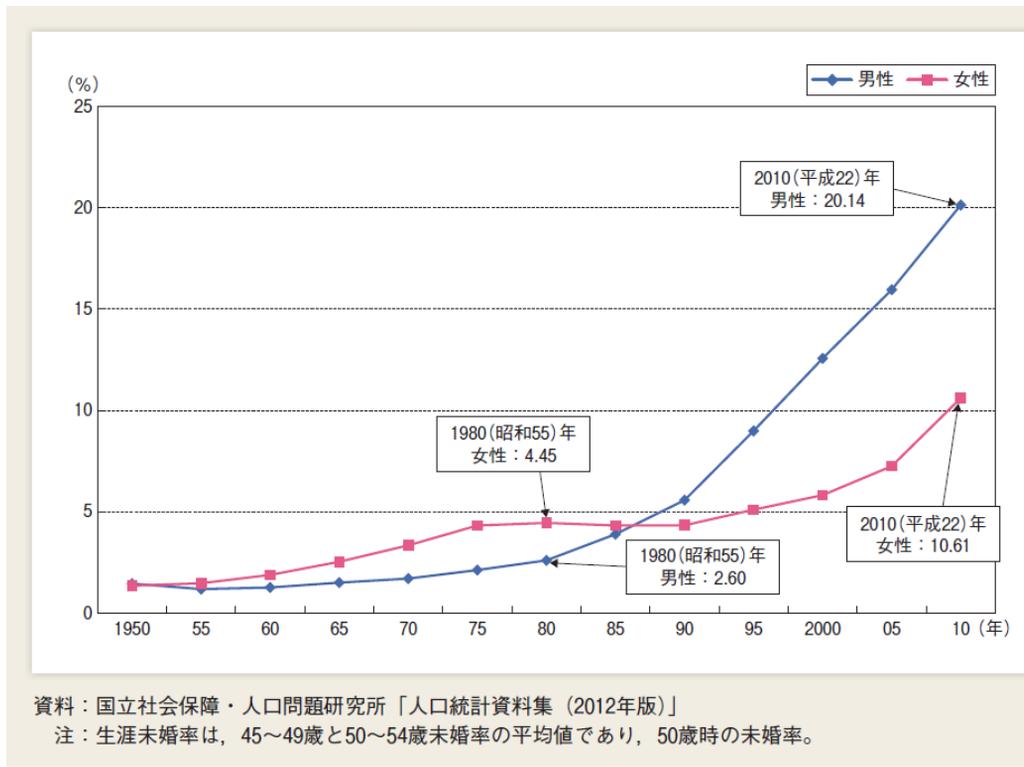
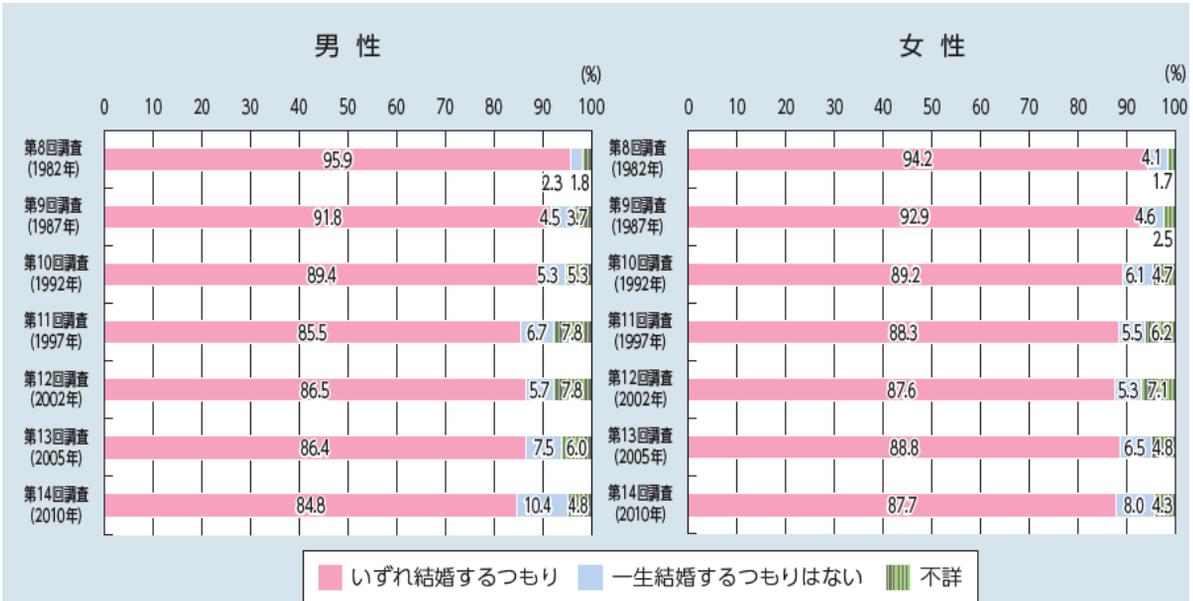




図15. 結婚意向（平成25年度「厚生労働白書」より）

①未婚者の生涯の結婚意思

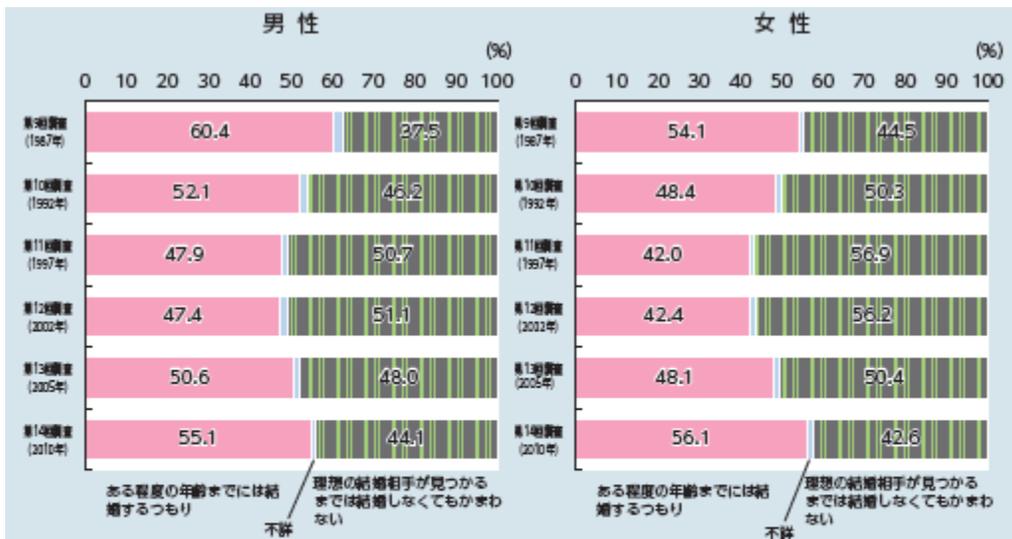


資料：国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」および鎌田（2013）より厚生労働省政策統括官付政策評価官室作成

引用文献：鎌田健司（2013）「30代後半を含めた近年の出産・結婚意向」ワーキングペーパーシリーズ（J）、国立社会保障・人口問題研究所

（注）対象は、第8回～第9回調査については18～34歳未婚者、第10回～第14回調査については18～39歳未婚者。

②結婚意思を持つ未婚者の結婚に対する考え方



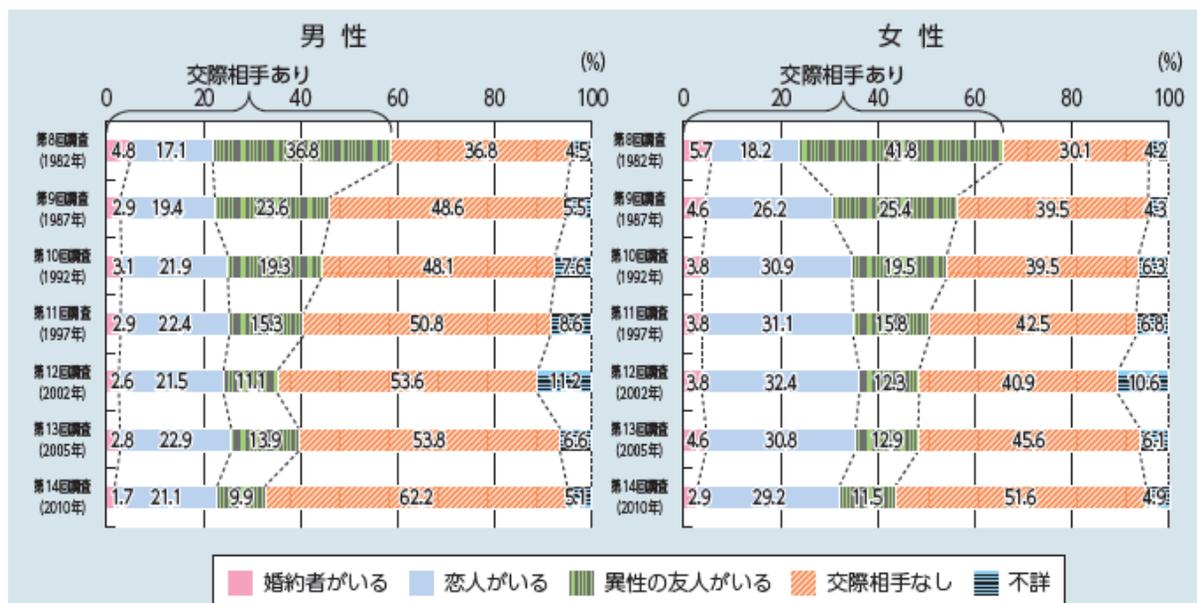
資料：国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」および鎌田（2013）より厚生労働省政策統括官付政策評価官室作成

引用文献：鎌田健司（2013）「30代後半を含めた近年の出産・結婚意向」ワーキングペーパーシリーズ（J）、国立社会保障・人口問題研究所

（注）対象は、第9回調査については「いずれ結婚するつもり」と答えた18～34歳未婚者、第10回～第14回調査については「いずれ結婚するつもり」と答えた18～39歳未婚者。

（設問）「同じく自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか。」（1. ある程度の年齢までには結婚するつもり、2. 理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない）。

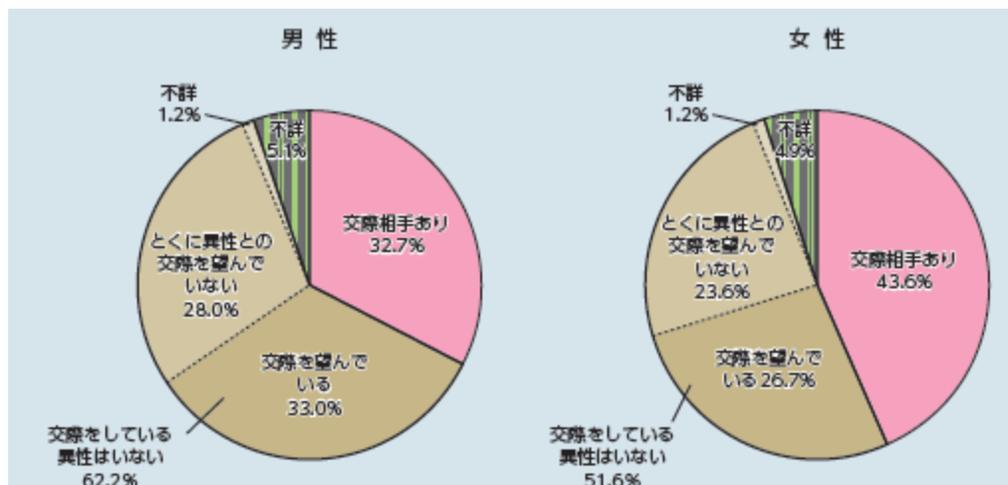
図16. 未婚者の異性との交際の状況（平成25年度「厚生労働白書」より）



資料：国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」および鎌田（2013）より厚生労働省政策統括官付政策評価官室作成

引用文献：鎌田健司（2013）「30代後半を含めた近年の出産・結婚意向」ワーキングペーパーシリーズ（J）、国立社会保障・人口問題研究所

（注）対象は第8回～第9回調査においては18～34歳未婚者、第10回～第14回調査においては18～39歳未婚者。



資料：国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」および鎌田（2013）より厚生労働省政策統括官付政策評価官室作成

引用文献：鎌田健司（2013）「30代後半を含めた近年の出産・結婚意向」ワーキングペーパーシリーズ（J）、国立社会保障・人口問題研究所

（注）1. 対象は18～39歳未婚者。

2. 「あなたには、現在交際している異性がいいますか。」という設問に対し、「婚約者がある」、「恋人として交際している異性がある」及び「友人として交際している異性がある」と答えた者を「交際相手あり」としている。